

坂の上通信

令和二年九月四日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文芸部(四〇三演習室)

教室に扇風機 導入

涼むのではなく換気を

7月27日より、生徒が授業を行っている全ての教室に扇風機が2台ずつ設置された。エアコンはすでに稼働し

ているが、新しい空調家電が入ったことになり。突然の設置に驚いた生徒も多かったようだ。この扇風機につい



全ての授業教室に二台ずつ導入された扇風機

学校の「顔」に インタビュ―



今回は1年1組の担任で、国語科の大川先生にインタビュ―を行った。
―なぜ国語の教員になられたのですか？
―本日は英語の先生

になりました。英語の成績も良かったんだけど、数学と化学で点数が取れなくて結局国語の先生になっちゃいました。

―好きな事は？
―ライブ、舞台、映画などを見に行くことかな。だけど最近ではコロナの影響もあって、なかなか行けないので辛いです。

―最後に、美高生に一言お願いします。
―高校生活は楽しいほうがいい！でも勉強はしたほうがいいよ！

効果的な換気のために

三密の一つ、「密閉空間」にしないためにはどうしたらよいのか。答えは「開けっ放しの換気」である。

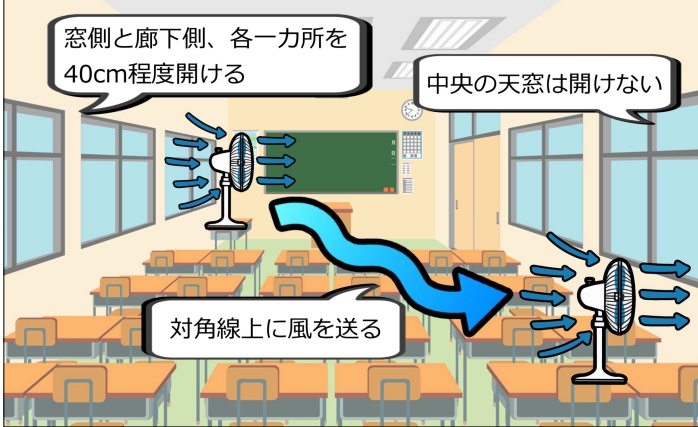
空調メーカーのダイキン工業によると、換気には汚れた空気を屋外に出したり、薄めたりする役割がある。大

て、教頭先生にお話をうかがった。
「感染リスク要因の一つである『換気の悪い密閉空間』を改善するため、空気の流れを作り、換気を効率よく行うことを目的として導入しました。風を発生させ、空気を循環する

性能をもつ家電としてはサーキュレーターが一般的ですが、教室に2台置くためのコスト、またサーキュレーターは小さいものが多いので生徒がつまずいてしまう可能性もあり、扇風機にしました。

あくまでも空気の流れを作るために設置しているもので、一定の方向に向けて、正しく使ってください。また、暑い日が続きますが、扇風機の風で涼むことは控えてください。空気の流れが止まりまづし、扇風機の周りに人が集まってしまい密になっ

【教室での換気イメージ】



この時に、扇風機を空気を上図のように設置することで、より効果的に空気を流すことができる。

窓を2カ所開けるのもポイントだ。空気の通り道ができるため、効果的に換気ができる。また、近くにある窓を二つ開けても教室全体の空気は換えられない。距離が離れた、対角線上にある窓(黒板側の窓と教室後方の入口など)を選ぶことが大切だ。

勢の生徒が集まる教室では、こまめに換気を行うより、常に窓を開けて換気を行うことが重要だ。
この際、窓を全開にする必要はない。狭い入口を用意することで、かえって勢よく空気が流れ込んでくるという。

歌は世につれ

歌は世につれ世は歌につれ。歌は、時代のアルバムです。
このコーナーでは、先生方の青春時代の思い出の一曲を、当時のエピソードとともに紹介していただきます。第1回の今回は、音楽

アーティスト	森本和子
曲名	ハイティーンゴーゴー

保健室利用が増加

体調不良により保健室を訪れる人、学校を早退する人が増加している。
夏休み明けの保健室来室者数は、昨年が1日あたり6、8人だったのに対し、今年は11、8人にまで上昇している。多くは体調不良だが、熱中症が疑われるものも多いようだ。

原因として、新型コロナウイルス感染症予防のためマスクを常用していることが挙げられる。呼吸の熱がこもること、熱中症に陥りやすくなるようだ。ただ、昨年に比べて軽症で来室する生徒も多いという。「新型コロナウイルス」と保健室の窓と教室後方の入口など)を選ぶことが大切だ。

熱中症を予防するには早寝早起き、三度の食事など規則正しい生活を送ることが第一だ。他にも喉が乾く前に水

坂の上通信

びりびり継続



7月に3年生2名が引退し部員数が0名となった新聞文芸部だが、先生方の力強い勧誘協力もあり、1年生2名程度が新入部員として参加することになった。坂の上通信の発行継続に、ある程度見通しがついたことになる。ただ人手不足であることは変わりがない。創刊以来、年間20号の発行を目指しているが、現状のままで目標の達成がやや危ぶまれている状況だ。

美・鈴・鈴・鈴

東京での、8月中旬の死者は170名を超え、今後ますます増える危険がある。死者のほとんどは60代以上の高齢者。新型コロナウイルスの話ではない。熱中症の話である。「観測史上初」という表現にも慣れたという言葉が無意識に口から出る、そんな毎日が続いている。▼

調べてみると「夏日」はその日の最高気温が25度以上の日のことを指し、「真夏日」は最高気温が30度以上、「猛暑日」は最高気温が35度以上の日のことを指すようだ。体感や印象などの感覚ではなく、気象庁が厳密に数値で定めているという。▼8月の後半はずっと快晴が続いている広島だが、猛暑日をわずかに下回った日さえ数えるほどしかない。もはや我慢や根性でなんとかするようなものではない。高温注意情報などに注意するのはもちろんだが、体調をきちんと自己管理することを心がけたい。暑さ我慢は美德ではありません。

編集後記

このたびは全員1年生で再起動しましたが、部員募集は継続していきます。兼部も可能です。お気軽に。